



Moodleを主体としたオンライン授業の設計および 学生の学習状況の把握

北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター
杉浦真由美

概要

- ・医学部1年生を対象とした初年次セミナーについて紹介
- ・COVID-19感染拡大に伴い、担当科目はすべてオンラインで実施
- ・授業はMoodleを主体としたオンライン授業に再設計
- ・オンデマンド授業と同時配信授業を組みわせて実施した

オンライン授業の再設計
学生の学習状況の把握

前年度の授業形式：反転授業

科目：初年次セミナー（15コマ）　対象：医学部1年生 110名

事前学習

講義ビデオ視聴 + 事前課題



基本的な知識を習得

対面授業

学び合い教え合うワーク



発展的な課題に取り組む



授業の再設計（1）

オンデマンド授業（非同期型）で可能なトピックについて考える

- ・個人ベースで学習して「学習目標」が達成できるトピックを選定
- ・テキストベースで課題の実践が可能なトピック（小テスト、ディスカッションなど）
- ・昨年度の授業で用いたビデオ教材を再利用



授業形式を分類した視点

オンデマンド授業（非同期型）

- ・ライティングスキルを習得するもの
- ・テキストベースのディスカッションで学習効果が期待できるもの

同時配信授業（同期型）

- ・コミュニケーションスキル、対人関係スキルを習得するもの
- ・対話を通してスキルの習得が期待できるもの

反転授業からオンライン授業へ再設計

学習主題	
1	授業の内容と学習の進め方
2	書くスキル：アイデアの可視化
3	書くスキル：文章の基本形，ノートの取り方
4	書くスキル：パラグラフライティング
5	書くスキル：レポートの構成と序論の書き方
6	書くスキル：本論と結論の書き方，文章の推敲
7	コミュニケーションスキル
8	リーダーシップスキル
9	プレゼンテーションスキル：スライド作成
10	プレゼンテーションスキル：スピーチ，質疑応答
11	映画を用いたコミュニケーション演習
12	聴覚障がいとコミュニケーション
13	視覚障がいとコミュニケーション
14	映画を用いたコミュニケーション演習
15	プロフェッショナリズム、まとめ



オンデマンド授業

同時配信授業 + オンデマンド授業



授業の再設計（2）

学生の学びやすさを重視する

- ・トピックごとの進め方、デザインの統一
- ・受講方法、課題の進め方など、より具体的に提示
- ・90分間（一コマ）の授業に講義を詰め込みすぎない
- ・従来の演習の中から、テキストベースのディスカッションに置き換えられる課題について検討



授業の再設計（3）

学生の学習状況を把握する

- ・従来の授業のときよりも学習状況を把握する頻度を増やす
- ・毎回の授業で適度な分量の課題を出す
- ・評点とともにフィードバックコメントをつける



Moodleを中心としたオンライン授業

オンデマンド授業
(非同期型)

6回

同時配信授業
(同期型)

9回



オンデマンド授業の1コマ

– 揭示板を利用したディスカッション –



課題：ディスカッション

授業の1コマ

テーマ：リーダーシップ

内容：リーダーシップとは

リーダーシップに必要な要素

(目標設定・共有, 率先垂範, 同僚支援)

課題：リーダーシップが発揮できた場面

(Moodleの掲示板)

科目名：初年次セミナー

学年：1年

学生数：110名

課題とルーブリックの提示

課題提示

課題：リーダーシップを発揮できた場面

- 自分がリーダーシップを発揮できた場面を【目標共有】
【率先】【垂範】【同僚支援】に当てはめて振り返る。
授業、部活、サークル、ボランティアなど…
- クラスの仲間のリーダーシップを発揮できた場面に
対してコメントする

【ルール】

- 誰からもコメントがついていない人にコメントをつける
- コメントをしてくれた相手の記述（課題）にもコメントをつける
- すべてにコメントがついている場合は、2つ目のコメントをつけてもよい

©Mayumi SUGIURA

35

ルーブリック提示

ルーブリック

	20点	10点	0点
目標共有	<ul style="list-style-type: none">・目指すべきゴールが書かれている・目標をどのように共有したかについて書かれている	一つしか書かれていない	目標共有について書かれていない
率先垂範	<ul style="list-style-type: none">・自ら率先して実践したことについて書かれている・率先して模範を示したことにより、周囲にどのような変化がみられたのか書かれている	一つしか書かれていない	率先垂範について書かれていない
同僚支援	メンバーにどのような支援（声かけなど）をしたのか具体的に書かれている	書かれているがあいまいである	同僚支援について書かれてない
他者へのコメント	クラスの仲間の記述にコメントをつける		コメントをつけていない
コメント返し	コメントをくれた相手の記述（課題）にコメントをつける		コメントをつけていない

©Mayumi SUGIURA

37

課題の進め方をルーブリックとともに具体的に提示



北海道大学
オープンイデュケーション
センター⁺
CENTER FOR OPEN EDUCATION

ディスカッションの例



高体連で優勝するために

高校生のとき、サッカー部に所属していた。

高校でサッカーの最後の大会である高体連で優勝することを最終目標とし、チーム全体で共有した
【目標設定、共有】

練習試合の会場が、私の高校のグラウンドだったため、サッカーコート作りとグラウンド整備をする必要
があった。当日は、集合時間よりも早く学校へ行き、準備をした**【率先】**

友人たちにも一緒に準備をしてほしいことを伝えた。最初はめんどくさいと言いながらも、集合時間より
早く来て、一緒に準備してくれた**【垂範】**

高体連当日、他の選手にアドバイスや応援の言葉をかけることを中心としてサポートした**【同僚支援】**

高体連は残念ながら敗退という形で終わってしまったが、高体連に向けて取り組んできたことは無駄には
なっていないと思っている。



Re : 高体連で優勝するために

部活の練習では、どうしても技術の向上に目が行きがちになります。そのような中で、基礎的なグラウンド
整備などの準備をおろそかにしないことは重要ですね。同僚に声をかけることに目を向けることができるの
は素晴らしいと思いました。部活への熱意を感じます。

ディスカッションの例



高体連で優勝するために

高校生のとき、サッカー部に所属していた。

高校でサッカーの最後の大会である高体連で優勝

【目標設定、共有】

練習試合の会場が、私の高校のグラウンドだった
があった。当日は、集合時間よりも早く学校へ行
友人たちにも一緒に準備をしてほしいことを伝えた
早く来て、一緒に準備してくれた【垂範】

高体連当日、他の選手にアドバイスや応援の言葉
高体連は残念ながら敗退という形で終わってしま
なっていないと思っている。



Re : 高体連で優勝するために

部活の練習では、どうしても技術の向上に目立
整備などの準備をおろそかにしないことは重要
は素晴らしいと思いました。部活への熱意を感

【教員】

- 授業内容の理解度を把握できる
- 個々の学生の活動を知る機会になる

【学生】

- 学習主題に対する学習内容の理解を深める
- 他者の記述を読むことにより、自己の課題
の達成度について振り返ることができる
- 他の学生の活動を参考にするできる
- 双方向のコミュニケーションにつながる

まとめ

- ・ 学習主題の中から、オンデマンド（非同期）で可能なトピックを選定した
- ・ 学生の学びやすさを重視して、授業全体をデザインした
- ・ 毎回の授業で課題を出し、学生の学習状況を把握する頻度を増やした